

系 統 アクリロイル変性アクリル樹脂系ライニング材

特 長 1) 卓越した耐酸性を有する。
2) 特殊専用吹き付けシステムにより、1回の施工で厚膜塗装が可能。
3) 特殊専用吹き付けシステムにより、短時間施工が可能。
4) 防食性能の発現が早い。

用 途 1) 下水道防食用ライニング材
日本下水道事業団
「下水道コンクリート構造物の腐食抑制技術及び防食技術指針・同マニュアル」
(平成14年12月) C種、D₁種適合

配 合 比 主剤：硬化剤：促進剤 = 100：1～2.5：1.5 (重量比)
※気温により、下表を参考にして硬化剤の種類、添加量を選定する。

荷 姿 主 剤：20kg
硬化剤：1kg または 5kg (ポリ容器) 春秋用 (328E)、冬用 (328EM) の2種類あり
促進剤：1kg または 5kg (ローヤル缶)

外 観 性 状 主 剤…グレー色ペースト状
硬化剤…無色透明液状 *1)
促進剤…紫色液状
混合物…グレー色ペースト状
*1) 硬化剤の色が黄褐色になる場合がありますが、性能に問題はありません。

乾燥時間の目安

温度 (°C)	5		10		15		20		25		30		
硬化剤 春秋用 (328E) 添加量※	/	/	/	/	/	/	/	20	15	15	10	15	10
硬化剤 冬用 (328EM) 添加量※	25	20	25	20	20	15	15	/	/	/	/	/	/
ゲルタイム (分)	70	100	40	50	30	55	30	45	60	35	60	15	20
養生時間 (時間)	30	30	24	24	12	12	7	7	7	5	5	3	3

※添加量：主剤 (NS-400) 1kg に対する g 数、促進剤 1.5g で固定

比 重 1.52 (硬化物)

標準塗布量 1.70kg/m² (C種)、 2.50kg/m² (D₁種)

貯蔵保証期間 6か月 (冷暗所保管)

消防法による区分 主 剤 危険物 第4類 第3石油類
硬化剤 危険物 第5類 第2種
促進剤 危険物 第4類 第2石油類

毒物及び劇物取 締 法 主 剤 該当しない
硬化剤 該当しない
促進剤 該当しない

使用 方法 1) 施工時の気温を考慮して硬化剤の添加量を決定する。
2) 専用吹き付け機械を用いてスプレー塗装を行う。
3) 手練りで施工する場合には、主剤と硬化剤を所定の配合比で均一に混合し、その後、促進剤を加え均一になるまで混合攪拌する。

使用上の注意 1) 汚れ、油等の付着した塗膜への塗装は避ける。
2) 原則として気温5°C以下、湿度85%以上、雨天時、結露時の塗装は避ける。
3) 急激に反応するので、硬化剤と促進剤を直接接触させてはいけません。
4) 直射日光下などの高温環境で保管すると、主剤がゲル化し使用不能になるので必ず冷暗所に保管すること。
5) 塗装時は換気を十分にを行い、火気厳禁とする。

注意

- 健康上、注意を要する物質を含有しています。
- 皮膚に付着すると“かぶれ”を起こすおそれがあります。
- 取り扱い中は、保護眼鏡、保護手袋、保護マスク等を着用してください。
- 詳細については安全データシート (SDS) を参照してください。